

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道)配水地等清掃事業	会計名称	水道特別			担当課	水道課	
		予算科目	1 款 1 項 2 目	事業番号	9903	所属長名	野島康博	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)					担当責任者名	大西孝明	
法令根拠等	水道法					実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり						【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～生活環境の整備							
事業の対象	市民 (上水道の利用者)			事業の目的	上水道区域内に清浄かつ安定的な給水を図るため、八倉、宮下、上野、上三谷客、上吾川、稲荷、森、大平配水池の管理をする。			
事業の内容 (整備内容)	定期的に配水池の見回りを行い適切な時期に草刈りを実施し適切な環境の維持に努める。			昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績
直接事業費	597	759	0	0	0	576	委託料	千円	597	759	302	695
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0			0			
一般財源	597	759	0	0	0	576						
職員の人工 (にんく) 数	0.13	0.20				0.20						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982			0			
※ 直接事業費+人件費	1,639	2,355				2,172						
主な実施主体	業務委託		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		配水池等草刈業務委託料 (759千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計		
					600	600	600	600	600	3,000		
成果指標	指標	実績数値のみを記載する。		単位	⇒	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標	毎 年度	
	指標設定の考え方	本事業は、配水池周辺への雑草被害防止対策が含まれており、指標の設定は困難である。		箇所		目標						
	指標で表せない効果					実績	8	8				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		配水池は水道において重要で必要不可欠な施設であり、不具合があれば市民生活に重大な影響を及ぼすことが懸念される。施設内を清廉に保つことにより、定期点検や緊急の修繕容易に対応ができ、周辺の環境にも配慮することができている。今後も清掃の時期等を見極め、適切な維持管理に努める。							
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	A	事業成果・工夫した点	定期的に各施設の見回りをを行い、適切な時期に草刈りを実施し、環境の維持につとめた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	4				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3				
	効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	特になし。
			コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3				
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 上水道の主要施設である配水池等の維持管理業務であるため、事業継続と判断する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	4				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3	合計点が	B			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3					
効率性	手段の最適性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が	A	所属長の課題認識	配水池は、水道施設における重要施設であり、管理には特に注意を払う必要がある。適切な管理により、点検や緊急的な修理も容易になり、施設周辺の環境美化にも寄与できる。今後は、適切な維持管理に努めると共に経費削減等も図る必要がある。	
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3					
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		